

平成24年度 第2回函館市行財政改革推進統括会議

日 時 平成24年6月26日（火）10：15～11：30
会 場 市長会議室
参集者 工藤市長，中林副市長，片岡副市長，山本教育長，秋田企業局長，
吉川病院局長，谷口企画部長，上戸総務部長，大竹財務部長

議 題 ◎新たな行財政改革プランにおける具体的な取り組み項目について
<対応：小林行政改革課長>
◎特別職による事業仕分け（内部仕分け）の実施について
<対応：川村財政課長>

◆議題の趣旨◆

新たな行財政改革プランにおける具体的な取り組み項目および特別職による事業仕分け（内部仕分け）の実施について協議を行いました。

◆協議の結果◆

取り組み項目および事業仕分けの内容について，概ね了承されました。
今後は，項目の公表および事業仕分けの実施に向けて手続きを進めていきます。

◆主な発言◆

（工藤市長）

職員の意識改革については，重要な項目の一つでもあることから，文書通知だけでなく，かけ声だけで終わらせるようなものではなく，しっかりと達成できるよう取り組んでほしい。

（中林副市長）

実現性を高めるため，チェックする仕組みなどを設けてはどうか。

（行政改革課長）

プラン原案の作成まで具体的に検討していきたい。

（片岡副市長）

部局運営方針については，「作成すること」が目的になっており，本来の目的を失っているのではないか。

（総務部次長）

これまでの間においては，ある意味形骸化するなど，そのような傾向があったが，今年度の人事評価の本格導入にあたっては，組織目標に基づき，個人の目標を作成することとしており，部局運営方針がその柱になっている。

(工藤市長)

児童館の指定管理者制度の導入にあたっては、単館ではなく、ブロック単位など複数での制度導入を検討してほしい。

(行政改革課長)

了解した。

(工藤市長)

入札による自動販売機の設置に関する北海道の新聞記事があったと思うが、本市では導入できないか。

(財務部長)

昨年、新規施設において導入を試行したところである。また、既存施設においては、福祉団体等による自動販売機の設置に対し、使用料の減免措置を行っているところであり、まずはそこから整理したいと考えている。

(工藤市長)

新規施設については、今後公募によることとし、既存施設については、減免の見直しと同時並行で、公募の検討も進めてほしい。

(財務部長)

了解した。

(企画部長)

「情報の見える化の推進」の中の「広報」と「広聴」の項目について、表現を統一し、まとめた方がよいのではないか。

(行政改革課長)

広報・広聴機能の充実ということで、項目をまとめることは可能と考える。

(中林副市長)

内部仕分けの対象リストについて、我々だけで判断できないものもあることから、もう少し精査してほしい。

(財政課長)

了解した。
